



コルテス 伊藤の我が音楽人生

第6回 FUSION そしてAUDIO地獄

先生方、お変わりございませんか？ 最近、歳を重ねるごとに終了間際の治療が辛い私です。今回は80年代に人気の高い音楽であったFUSIONのお話と、それにまつわるAUDIO地獄へのいざないの話をしてします。前回の話の中で出ましたPAT METHENYがFUSIONへの入り口だったとは思いますが、ROCKの中にもJAZZ ROCKという怪しい分野がございまして、とりわけ英国のバンドにはユニークなバンドが多く、それこそROCKだかJAZZだかどちらにもとれるような音のレコードが氾濫していた時代でもございました。日本独自の言葉かもしれませんがクロスオーバーなんて表現もありましたね。NHK FMのクロスオーバー11、覚えていらっしゃる先生もおいでになると思います。今思えば、すごく素敵な番組でしたね。選曲も良かったし、横内正さんのナレーションも雰囲気が素晴らしかったですね。横内さんは水戸黄門初代格さんのイメージが強く、皆さんもご存じでは。

ところで、当時はアナログレコードしか勿論ないわけですから、色々な雑誌で情報を得ながら購入するレコードを選んでおりました。しかし、あまりにも自分の趣味から外れてしまうものは、どんなに評価が良くても買うことはありませんでした。JAZZ、ROCK、FUSION、POPSの中で、当時私が愛聴していたレコードを挙げてみますと、

- ・ WATERCOLORS / PAT METHENY
- ・ THE NIGHT FLY / DONALD FAGEN

- ・ BOYS IN THE TREES / CARLY SIMON
- ・ IT'S MAGIC / スクエア
- ・ AJA / STEELY DAN
- ・ LATER CIRCLE / DON FRIEDMAN
- ・ MELODIES / 山下達郎
- ・ 恋人よ / 五輪真弓



となるわけですが、まだまだありますがきりがないのでこの辺にいたします。当然のこと、もっと良い音でこのレコードを聴きたい、という願望は日に日に強くなり、ある専門店に行ってしまったのが運の尽き。そこで聴いたPAT METHENYは全く別のものでした。今考えると、当時は夢のようなシステムでしたね。

- MARK LEVINSON、LINN、ORTOFON、
- JBL、EXCLUSIVE。

この組み合わせは、現在でも通用する凄いシステムだと思います。レコードだけに限らず、NET AUDIOでもじゅうぶんに使えます。

地獄と称してるのは、ここからすべてお金も人生もAUDIOと音楽につき込んでしまう私がいって、その金銭感覚がAUDIO SHOPに行くたびに狂っていても、全く気付かずにいる。この感覚は皆さんもお分かりになれるのでは(笑)。そんなこんなで、今の私もこの冥府魔道から抜けられずもがき苦しんでおります。AUDIO SYSTEMの移り変わりを(売っては買いのこと)列挙したいところですが、自分の馬鹿を丸出しにしてしまいますから、この辺で止めますね。

CORTEZでは、今のところJAZZを中心にしたLIVEを行っていますが、最近ではFUSIONをもう一度ということで、そのあたりのミュージシャンにも来ていただきLIVEをしております。

先日は、PRISMというベテランのバンドに来ていただき、感動の2daysでした。音も素晴らしく、演奏力も高いのでご機嫌なLIVEになりました。先生方も色々なご趣味をお持ちでしょうが、時には日常を離れた音空間を体験して気分転換を図るのもよろしいと思います。CORTEZのLIVEスケジュールはホームページCORTEZ.JPで検索してみてください。

先生方のご出身の大学に音楽関係のクラブ、同好会等があると思いますが、先日私の母校の先輩、後輩の皆さんがお店に集まってくれてそれは楽しいひとときでした。青春時代にもどりましたね。JAZZ研究会の皆さんありがとうございました。

今回はこの辺で失礼します。次回はコレクター気質あれこれです。

(ひたちなか市 伊藤歯科医院・伊藤輝彦)